

令和 6 年 6 月 25 日現在

機関番号：13101

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2017～2023

課題番号：17K01631

研究課題名（和文）ホメロスの運動文化思想に関する研究

研究課題名（英文）A Study on Homer's Thought of Athletic Culture

研究代表者

小林 日出至郎（Kobayashi, Hideshiro）

新潟大学・人文社会科学系・フェロー

研究者番号：10195802

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,600,000円

研究成果の概要（和文）：本研究成果として、ホメロス作品において、人間の幸福に繋がる運動文化は次の特性があることが明らかにされた。（1）そのような運動競技に関わる優れた英雄は、戦士的精神性と名君的精神性を有している。（2）両方の精神性を有している英雄は、優れた体力、勇気、賢明な知性が育まれている。（3）その英雄は神々の影響を受ける力量がある。（4）そのような英雄は、祖国の平和のために、異国の優れた勇士（英雄）を賓客として迎えている。

研究成果の学術的意義や社会的意義

学術的社会的意義として、本研究成果は、運動文化、体育スポーツ、及び身体教育学分野において、以下の3つの貢献が期待できる。

人類の共存に関連する運動文化の本質解明に繋がる成果である。他者や他国との共存を観点とした運動文化や身体教育の本質解明に繋がる研究方法を提示していることである。持続可能な社会に向けた身体教育・スポーツ教育の目的及び指導原理の基礎的研究成果となることである。

研究成果の概要（英文）：As the result of this study, it was shown clearly in the Homer's Works that the athletic culture connected with man's happiness had the following characteristic. (1) The great hero in connection with the athletics had the fighter spiritualism and the spiritualism of wise ruler. (2) The hero who had those spiritualism had the excellent strength, courage and wisdom. (3) He was able to receive the influence of gods. (4) He welcomed the great hero of outstanding foreign country as the important visitor for the peaceful homeland.

研究分野：体育・スポーツ哲学 体育原理

キーワード：運動文化 運動競技 精神性 英雄 神々 知性 勇気 力

## 1. 研究開始当初の背景

ホメロス叙事詩は西洋最初の作品であり、時代と地域を超える世界的古典である。また、この作品は身体教育や運動文化の本質的解明においても人類的価値がある。『イリアス』第23歌『オデュッセイア』第8歌等において、闘争本能をコントロールする身体運動、生命の安全と輝きを活かす運動競技、及び他者を尊重する運動文化等が示唆されている。これらの探究は、時代と地域を超える運動文化思想の解明に繋がる可能性がある。

(1) 本研究者は、2003年の国際スポーツ哲学会(第31回大会、イギリスのグロスターシャ大学において開催)で「現代スポーツにおけるホメロスとプラトンの現代的意義に関する研究」を発表し、ホメロスの思想が現代の運動競技に貢献することを指摘し、その内容を研究論文(参考文献①)として公表し、ホメロス研究が人間の幸福をもたらす運動文化の本質解明に繋がる可能性を示唆している。

(2) 以上の研究経過後、本研究者は、2011年-2015年において「『イリアス』の運動競技における精神性に関する研究」(科学研究費助成事業;基盤研究(c)課題番号23500687)により、次のような研究成果を報告している。『イリアス』の運動競技における精神性は、「賢明さ」をとまなう身体的能力の発揮であり、運動競技において、神々は賢明な英雄たちに影響し(参考文献②)、普通ではない「力」の発揮をもたらしていること(参考文献③)である。これらの成果も、人間の幸福をもたらす運動文化解明に繋がるホメロス研究の可能性がある。

## 2. 研究の目的

本研究の目的は、ホメロスの英雄叙事詩における運動競技を研究し、人間の幸福に結びつく運動文化思想を解明することである。この研究を達成するためには、時代と地域を超える本質解明のための鍵概念;「競争」「力」「勇気」「知性」「普遍的存在」等の再検討、これらの構造化と関係性の解明に基づく運動競技の本質把握、及び、人間の幸福に結びつく運動競技を明らかにすることである。

## 3. 研究の方法

本研究は、オックスフォード大学出版の古典テキスト『イリアス』『オデュッセイア』を中心に、「競争」「力」「勇気」「知性」「普遍的存在」等に焦点化し、これらの構造化と関係性の解明により、時代と地域を超越する運動競技の本質理解、及び、人間の幸福に結びつく運動文化思想の解明を行うという方法を用いた。

## 4. 研究成果

(1) 平成29・30・31年度(令和元年度)は、オックスフォード大学出版の古典テキスト『オデュッセイア』を中心に、命懸けの「競争」と運動競技において、「力」「身体」「勇気」「魂」等の関係性を論考し、運動競技に関する本質解明のための基礎的研究を行った。「競争」をカテゴリー的に分析すると、戦争・闘争は生命の否定であり、「運動競技」は命を活かす身体運動として語られている。

研究成果は、以下の3点である。

①命の安全を尊重する運動競技の用例を『オデュッセイア』全体において分析・検討し、生命や競技規定の尊重、主催者の裁量、勝者への褒美の3条件と関わる運動競技と、「試練」「難業」等に分類し、研究を展開すると、英雄オデュッセウスが関係する代表的運動競技は、次の3場面である。第8歌(*Od.* 8. 1-265)のパイエクス人たちの運動競技と彼が参加する円盤競技、第18歌(*Od.* 18. 1-123)の乞食イロスとの拳闘、第21歌(*Od.* 21. 1-434)における王妃ペネロペイアの求婚者たちの弓射競技と彼の参加である。(参考文献④)

②以上の3場面を中心に、オデュッセウスの知性と身体力を分析・検討すると、次のようにまとめることが可能である。彼の知性は、思い遣りや謙虚さにつながる「心」(ヌース)や、「試練」を克服する「智謀」(メーティス)として、また、彼の身体力は「力」(メノス)(ステノス)「腕前」(アレテー)として理解できる。(参考文献④)

③上記の3場面を中心に、さらに、彼の気質について分析・考察すると、上記②の成果に加えて、英雄オデュッセウスの忍耐力の重要性(学会発表①)が明らかになった。身体的試練・苦難を克服する「身体力」(メノス、ステノス、アレテー)、「心」(ヌース)「知謀」(メーティス)と関わる「辛抱」(トルメーエイシ)である。

(2) 令和2・3・4・5年度は、新型コロナウイルス感染防止等に対応する中、本研究の目的を達成できるよう、これまでの研究成果と上記(1)の内容を整理・考察しつつ、研究を展開した。研究成果として、ホメロス叙事詩の「運動競技」においては、戦士的精神性と名君的精神性が尊重されていることが明らかになった。(学会発表②)

①戦士的精神性は、部族の存続と運命を掛けた命懸けの戦いにおいて、他の戦士に先んじて武勇を発揮する精神性(*Il.* 6. 208-210参照)であり、「運動競技」においては、高度な技能や勇気による試合への挑戦と名誉を尊重すると共に、致命傷に至らない命への配慮がある。戦車競技

(*Il.* 23. 262-650 参照) に参加したスパルタの王メネラオスは試合中、若い英雄アンティロコスが危険な状況になった時、勝利よりも彼の安全を配慮した競技を展開している。また、ギリシア軍第一の戦技に優れた英雄アキレウスは、トロイア軍との緒戦で活躍した代表的英雄ディオメデスと、祖国へ帰還されそうになった軍の劣勢を守り抜いたギリシア軍の砦と評される、剛勇の大アイアスによる槍競技 (*Il.* 23. 798-825 参照) において、彼らの力量をその競技において十分に発揮させると共に、安全を配慮した判定をしている。格闘した両者は槍の技能、闘志、勇気等において、戦場を代表する英雄であるが、アキレウスは、両者の試合があまりにも危険な状況に見えた時、ディオメデスの優勢を見抜き、試合を止めている。

②名君的精神性について、戦技に優れ、忍耐強く、知性豊かなオデュッセウスは、次のように自覚している。この精神性は、神を恐れ敬い、多くの逞しい人々を統率し、正義を重んじる名君に宿る心であり、このような心が国に広がる時、大地や海から豊かな実りを人々と共に授かり、人々が栄える心になる。( *Od.* 19. 106-114 参照) またオデュッセウスは、パイエクス人との円盤競技、イロスとの拳闘、王妃の求婚者たちとの弓射競技の、それぞれの運動競技(本研究の「研究成果」(1) 参照) において女神の影響を授かる内容が語られている英雄であり、神を実感できる人物としても描写されている。

③名君的精神性については、パイエクス人たちの運動競技を開催したアルキノオス王の描写においても、理解することが可能である。彼は、神々を畏敬し、自然の恵みを授かり、国をまとめる統率者であり、祖国を代表する若者たちの「運動競技」を開催している。その際、優れた異国の勇士を賓客として対応している。若者たちが勝利を迫及し戦士的精神性を発揮する中、彼は、優れた異国の勇士を尊重し親睦を深め、他国と争わず、祖国の繁栄に繋がる「運動競技」会を開催している。( *Od.* 8. 1-265 参照)

以上が本研究の成果内容であるが、本研究の目的に焦点化し、整理すると次のようになる。ホメロス作品において、人間の幸福に繋がる運動文化は命を活かす身体運動が語られ、「運動競技」に関わる優れた英雄は、戦士的精神性と名君的精神性を有していることである。それらの精神性を有する英雄は、優れた身体力や勇気を有し、知性に優れ、神々の影響を授かる人間力があると共に、運動文化を祖国の繁栄と平和に活用できる力量を有している。そして、そのような英雄は、優れた異国の勇士を賓客としてもてなすと共に、若者たちを平和な国家に貢献できるよう運動文化を教育に活かしている。

### (3) 得られた成果における国内外における位置づけ

以上の本研究の成果は、運動文化、体育スポーツ、及び身体教育学分野における位置づけとして、以下の3点が期待できる。①人類の共存に関連する運動文化の本質解明に繋がる成果である。②他者や他国との共存を観点とした運動文化や身体教育の本質解明に繋がる研究方法を提示していることである。③持続可能な社会に向けた身体教育・スポーツ教育の目的及び指導原理の基礎的研究成果となることである。

### (4) 今後の展望

今回のホメロス叙事詩研究では、人間の幸福に繋がる運動文化思想として、戦士的名君的精神性が明らかにされてる。しかし、このような精神性が、どのようにして育まれることに成るのかという課題が残されている。また、運動競技に影響を及ぼす神と名君的精神性を育む神は、どのような関係にあるのか、これも、今後の課題である。これらの課題の解明は、持続可能な社会に貢献する運動文化や身体教育の本質解明に繋がっている。

#### <参考文献>

- ①Kobayashi Hideshirou, Study on the Significance of Homer and Plato in Modern Sport, 比較思想研究, 第7号, 2007, 85-95
- ②小林日出至郎、『イリアス』における競争に関する研究—戦争と運動競技における英雄ディオメデスを中心として—, 新潟大学教育学部研究紀要, 第6巻第1号, 2013, 91-97
- ③小林日出至郎、『イリアス』におけるメノスに関する研究—神々と英雄たちの関係性の観点から—, 体育哲学研究, 第46号, 2016, 1-12
- ④小林日出至郎、『オデュッセイア』の運動競技に関する研究—知性と身体力の関係を中心として—, 新潟体育学研究, 37号, 2019, 3-8

#### <学会発表>

- ①小林日出至郎、『オデュッセイア』の運動競技に関する研究—運動競技と忍耐力の関係性を中心として—, 日本体育学会第70回大会(慶応義塾大学), 2019年9月, A4;1-7頁
- ②小林日出至郎、ホメロス叙事詩の運動競技に関する研究—英雄の精神性に焦点化して—, 日本体育・スポーツ哲学会第42回大会(東海学園大学 Zoom), 2020年11月, A4;1-6頁

#### <その他>

小林日出至郎、ホメロスの運動競技、体育哲学専門領域 e 辞典、「7. 文化論的・構造論的研究」、受理日; 2024年3月31日、公開日; 2024年9月1日(予定)

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 小林 日出至郎	4. 巻 37巻
2. 論文標題 『オデュッセイア』の運動競技に関する研究 知性と身体力の関係を中心として－	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 新潟体育学研究	6. 最初と最後の頁 3 - 8頁
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計4件（うち招待講演 0件/うち国際学会 0件）

1. 発表者名 小林 日出至郎
2. 発表標題 ホメロス叙事詩の運動競技に関する研究－英雄の精神性に焦点化して－
3. 学会等名 日本体育・スポーツ哲学会第42回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小林 日出至郎
2. 発表標題 『オデュッセイア』の運動競技に関する研究－運動競技と忍耐力の関係性を中心として－
3. 学会等名 日本体育学会体育哲学専門領域
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林 日出至郎
2. 発表標題 『オデュッセイア』の運動競技に関する研究 知性と身体力の関係を中心として－
3. 学会等名 日本体育学会第69回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林 日出至郎
2. 発表標題 『オデュッセイア』におけるメノスに関する研究
3. 学会等名 新潟県体育学会
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

小林日出至郎、ホメロスの運動競技、体育哲学専門領域e辞典、「7.文化論的・構造論的研究」、受理日；2024年3月31日、公開日；2024年9月1日（予定）

6. 研究組織		
氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------